

CSRの観点からの健康増進活動の促進に関する関係者ニーズの現状 —「健康会計」等に関するアンケート調査結果とその考察—

小林 正、朝倉 晋、吉本 明憲、○河野 敏鑑
株式会社 富士通総研

【キーワード】：CSR（企業の社会的責任） 健康増進活動の可視化 「健康会計」

【目的（背景など）】：企業の地球環境保全活動や環境会計を参考に、企業の社会的責任（以下、CSR）の観点から従業員等に対する健康増進・疾病予防活動を促進し、その費用と効果を可視化するためのツールである「健康会計」設計上の関係者ニーズを把握する。

【方法】：個人及び上場企業を対象として「従業員等の健康に配慮した経営」に関するアンケート調査を実施した。

【結果】：個人アンケートの結果、①「職場の安全衛生」、「従業員の健康管理の充実」などの項目について、回答者の7～8割が就職、再就職先の選択上、重視している、②商品等の選択上、「食料品」や「医薬品」などの健康に関わる業種で、企業の健康配慮活動を重視する傾向が強い、③「延べ時間外労働時間」や「従業員満足度」、「労災発生件数」などについては回答者の3～4割が情報開示を望んでいる、などの点が明らかになった。

上場企業を対象としたアンケート結果からは、①従業員に対する健康増進活動は「労働生産性の向上」、「人事・労務管理の一環」、「企業の社会的責任」の3つの観点から重要であり、②回答者の9割が「効率的な健康増進活動の推進」のために関連費用と効果の把握が重要であるとする一方、③そのための問題点として「必要なデータ収集が困難」、「データの定量化が困難」を挙げ、④健康増進活動の可視化のツールとして約3分の2の回答者が『「健康会計」に関心がある」とし、⑤その利用は「外部報告目的および内部管理目的」と「内部管理目的」が半々である、などの点が明らかになった。

【考察】：CSRの観点から企業の健康増進活動を促進していくことの意義を確認できた。また、長時間労働の是正などの労働分野全体のCSR活動の一環、さらには人事・労務管理の改善や労働生産性の向上の観点もまた重要であろう。

【結語】：企業における健康増進活動の費用と効果を定量的に把握し、可視化するツールとして「健康会計」への高い期待が確認されるとともに、現状ではその基盤としての健康情報のデータ整備が必要と思われる。